

第2章 中津市が目指す環境像

1. 目指す環境像
2. 施策の構成



福澤諭吉旧居

環境像の設定について

環境像は、中津市環境基本計画の施策の実行により、市民に健康で文化的な生活をもたらす恵み豊かな環境を実現し、第五次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン2017」における将来都市像「暮らし満足No.1のまち「中津」」を環境的側面から支えることを目的にしています。

環境像の設定に際しては、環境に関する意識・行動等調査（アンケート調査）の結果を基に、中津市の市民や事業者にとって、暮らし満足 No. 1 の環境とはどのようなものかを検討し、設定しました。

【第五次中津市総合計画「なかつ安心・元気・未来プラン2017」】

将来都市像：暮らし満足No.1のまち「中津」

基本目標：① 子どもの将来における可能性が最大限広がるまち

② 若者が未来を描くために必要な社会環境

（雇用、生活、余暇、子育て、出会いの場など）が整っているまち

③ 高齢者がいつまでも健康で、生きがいをもって暮らせるまち

④ 男女や年齢の差、障がいの有無に関わらず、互いに支えあいながら
コミュニティの一員として元気に活躍できるまち

⑤ ふるさとを愛し、ふるさとの価値を次世代へ繋ぐまち

【環境に関する意識・行動等調査（H29 アンケート調査）：将来の環境について】

「山・川・海の美しい自然が維持・活用されるまち」 回答率：63.3%

「きれいな空気や水、静かな環境に恵まれた健康な生活が営めるまち」 回答率：59.8%

2. 施策の構成



● 基本施策1：自然共生社会の構築

山～川～海の恵まれた自然を保全・再生するとともに、その自然を持続可能なかたちで利用することにより、地域の人々の暮らしを支え、豊かな文化を育むことを目標とします。そのために、以下の各個別目標の実現を目指します。

- 1-1 重要地域の保全
- 1-2 里地里山の保全
- 1-3 希少野生生物の保護
- 1-4 自然とのふれあいの場の確保

● 基本施策2：脱炭素社会・循環型社会の構築

2050年までの脱炭素社会の実現を目指して、市域における温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、地球温暖化の進行への本市における適応策を講じます。また、廃棄物処理は、大きな二酸化炭素の排出源となっているほか、生活環境や自然環境、財政にも影響していること等を鑑み、3Rの推進による循環型社会の構築を目標とします。そのために、以下の各個別目標の実現を目指します。

- 2-1 再生可能エネルギー・省エネルギーの推進
- 2-2 脱炭素に向けた地域づくり
- 2-3 地球温暖化への適応
- 2-4 廃棄物の適正処理・3Rの推進

● **基本施策3：生活環境の保全**

私たちが健康で快適な生活を営むための基盤である、大気、音、水、景観等の生活環境の保全を目標とします。そのために、以下の各個別目標の実現を目指します。

3-1 大気・音環境の保全

3-2 水環境の保全

3-3 景観・文化財の保全

● **基本施策4：環境保全のための人・組織づくりの推進**

基本施策1～3の実現を人づくり・組織づくりの面から支えるため、子どもと大人の環境リテラシーの向上と、環境保全のための組織の活性化を目標とします。そのために、以下の各個別目標の実現を目指します。

4-1 環境学習の推進

4-2 環境保全活動の推進